

平成 23 年度 第 1 回江田島市公共交通協議会 (H23.6.2)

協 議 会 議 事 録				
会議名	平成 23 年度 第 1 回江田島市公共交通協議会			
日 時	平成 23 年 6 月 2 日 (木) 14 : 00 ~ 15 : 30			
出席者	県立広島大学	名誉教授	のほら けんいち 野原 建一	○
	広島商船高等専門学校	教 授	おかやま まさと 岡山 正人	○
	江田島バス株式会社	代表取締役社長	はすだ つとむ 蓮田 勉	○
	江田島バス株式会社	従業員代表	しらいし ひろし 白石 公士	○
	広島県旅客船協会	会 長	にった いちろう 仁田 一郎	○
	瀬戸内シーライン株式会社	船員代表	たにぐち みのる 谷口 実	○
	広島県タクシー協会江能支部	支部長	いまみや こうじ 今宮 浩二	○
	江田島市自治会連合会	会 長	おがた けんそう 小方 憲三	○
	江田島市老人クラブ連合会	会 長	いのこ よしお 猪子 嘉生	○
	江田島市社会福祉協議会	会 長	おおつ かつひこ 大津 克彦	○
	江田島市女性会連合会	会 長	おかだ れいこ 岡田 鈴子	○
	江田島市観光協会	会 長	なかしま まさる 中島 勝	○
	中国運輸局海事振興部旅客課	課 長	おおしま はるゆき 大島 治之	代理出席 しんぼう ひろし 神宝 博
	中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	やざわ しょうじ 八澤 昭二	○
	広島県地域政策局過疎・地域振興課	課 長	ますだ しげのぶ 増田 茂伸	代理出席 だて あきふみ 伊達 晃史
	江田島警察署	地域交通課長	しげむね ひろあき 重宗 博明	○
	市議会交通問題調査特別委員会	委員長	とち やすのり 登地 靖徳	—
	市議会産業建設常任委員会	委員長	えびす まさのぶ 胡子 雅信	○
	江田島市	副市長	しょうい よしあき 正井 嘉明	○
	江田島市	総務部長	とて さんせい 土手 三生	○
江田島市	土木建築部長	いしい かずお 石井 和夫	○	

1 開 会	
事務局	開会宣言
2 会長あいさつ	
会 長	あいさつ
○ 委員の紹介 (自己紹介)	
委 員	自己紹介
3 議長の選任について	
事務局	野原委員を議長に選任
4 報 告	
協議会規約の一部改正について	
事務局	－資料 1 により説明－
議 長	質問や意見は無いか。 質問・意見が無いので、承認されたということとする。
5 協 議	
(1) 平成 22 年度歳入歳出決算について	
事務局	－資料 2-1 により説明－
議 長	監査委員から監査報告をいただきたい。
監査委員	－資料 2-2 により報告－
議 長	この件について、質問や意見は無いか。 無いようなので、承認されたということとする。
(2) 平成 23 年度予算について	
(3) 平成 23 年度事業計画について	
事務局	－資料 3, 4, 4-1, 4-2 により説明－ 交通メール配信のチラシは、各航路事業者と江田島バスに協力頂き、船内・車内に掲示させてもらっている。また棧橋ターミナル内にも掲示している。5 月 29 日に欠航情報のメール配信を行った。
議 長	質問・意見はないか。
委 員	平成 23 年度事業計画については、お金がかかるものだけを書いているような気がするが、協議会の 3 年間の計画の中で、まだまだやる事や検討すべき事はたくさんあると思う。その中でお金の割り振りがいる事業だけをここに挙げている気がして、本来こういう事項を検討するんだというのが抜けている気がするのだが、いかがか。
事務局	以前にも同様の指摘があったが、今回の資料については最初の事業

	<p>計画ということで、金額のみの説明をさせてもらった。他にも協議すべきことについて、これまでの協議会において出てきた部分については、それぞれの分科会等で議論したうえで、掲載すべきものは掲載しようと考えている。意見等があれば、今後はそれらも入れていきたい。</p>
議 長	<p>ということは、次の協議会でお金のかからない部分については、項目を出していくということか。</p> <p>平成 23 年度の予算との絡みで書かれていると思っているので、その他いろんな事柄については、記載されていないが、やることはやる。事務局でコメントがあればお願いしたい。</p>
事務局	<p>今考えられるものとするれば、航路の関係で将来的なところを睨んだ全体的な話は、継続してこの協議会でやっていきたい。それは以前から話しているとおり。その辺りで具体的にどのように、というところが、事務局としてもどういった記述をしていけば良いかというのが出てないので、書くことが出来なかったというのが本音。</p>
委 員	<p>これを承認するという事は、あくまで金額の部分に割り振られた面だけを承認するという事で、協議会で今年何をやっていくかというのは、また別物ということか。</p>
事務局	<p>今回出てきたものに関してはしっかり協議して、それ以外のものに関しても協議してもらいたいと思っている。</p>
議 長	<p>とりあえずは予算に絡むもののみを承認いただくということによろしいか。他に何か意見は。</p>
委 員	<p>資料 4-1 により、おれんじ号の利用状況を示してもらった。最後にある「4 今後について」で「6 月から 7 月に運行事業者や地域住民と協議を重ね」とあるが、今までも地域住民や自治会などから要望が出ているが、そういうものがあったら教えてもらいたい。</p> <p>また先ほどの件について、当初から懸案である「江田島市の海上交通はいかにあるべきか」ということがこの協議会の大きな目標であるし、その中で先般も質問したのだが、海上部会や陸上部会で協議しているということで、前回の協議会から今回の協議会までの間で意見等が出ていれば教えてもらいたい。</p>
事務局	<p>まず資料 4-1 の今後のことについて、これまで地域住民やバス・タクシー事業者と話をさせてもらっているが、その中でいろんな意見・要望が出てきたものを、まず 4 月から継続する分に関しては、いろんな変更点を加えて実証運行を継続するという事で、前回の協議会で説明したところ。予約方式や便数を変えるといった一部変更を行い 2 か月実施したところであるが、これをもう少し継続する中で、さらに地域住民の方の意見を聞きながら、7 月末までには方針を決めたいということを書いている。</p> <p>部会等でのこれまでの状況については、海上部会については県の航</p>

	<p>路補助の説明会があった件は前回協議会で話したが、それ以降海上分科会は開催していない。陸上部会については、おれんじ号に関して、今日資料を出している内容や今後についての相談などを、陸上分科会を 5 月 26 日に開催し協議したところである。海上分科会についても、県の航路補助の説明が十分に出来ていないこともあるので、近いうちに開催できたらと思っている。</p>
<p>委 員</p>	<p>私もこの事業計画が金額的なところだけで、本来この協議会がどういう目的であったのかなと考えている。もちろん今までの 1 年目 2 年目でやってきたものに関して、実際にお金をかけて実施していくということに対する予算書案だと思っている。その中で何点か事業計画について伺いたい。</p> <p>まず観光で利用できるバスダイヤの設定について、江田島バスがメインで考えていくと思うのだが、私の認識では、江田島バスは小用港を起点とした路線便と理解している。一方中町など西能美においてはバスと船がうまく接続していないと言われ、いわばバスの空白地帯とも言えるのかなと思っている。小用以外の港からの観光がなかなか芽生えないのも一つの原因で、今回これをやることには賛成ではある。</p> <p>次にインターネット等による情報発信について、お知らせメールの登録を私もしており、実際に何件か受信している。今後さらにこれを拡散してくとか、皆さんに知っていただくということをどんどんやってもらいたい。</p> <p>あとはサイクリングマップについて、こちらもかなり配布されていて、サイクリングをされている方の生の声を聴くと「本当に良いマップだ。雨に濡れても紙がくしゃくしゃにならない。すごく工夫されている。」と評価を受けている。今回増刷するというので、予算は 50 万円としているが、何部増刷される予定なのか。また、サイクリングによる周遊の仕組みづくりを検討ということだが、実際サイクリングをする方々の意見を積極的に聞いてやってもらいたいのだが、どのように検討していこうと考えているのか、その具体案がもしあれば教えてもらいたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>バス路線系統整理の件について、小用を起点とした路線があるが、実際中町棧橋や三高棧橋についてもバスの接続がうまくいくようにということで、平成 21 年 4 月 1 日のダイヤ改正の際には江田島バスにその辺を考慮してもらった。</p> <p>「観光」という言葉を入れたのは、ひとつには術科学校に見学に行かれた方がそのまま小用港に帰るといったケースが多いのだが、術科学校から中町方面、シーサイド温泉のうみの方へ行ってもらえるようなルートづくりであるとか、もちろん沖美・能美の港から観光が出来るようなバス路線があっても良いのかなと思ひ、その辺も含めてこれか</p>

	<p>ら協議させてもらいたい。</p> <p>メール配信については今 287 件の登録者がいるが、今後さらに登録者が増えるようにやっていきたいと考えている。</p> <p>サイクリングマップの増刷部数については、最初に 1 万部を印刷し配布したところ、すぐに無くなってしまった。別の国の補助メニューで印刷できるものがあったのでそちらで 1 万部増刷したのだが、こちらでも残り 3 千部をきっているような状況である。ただサイクリストの方々には概ね行き届いている状況と思われるので、今後状況を見ながら、予算では 1 万部の増刷を考えている。周遊づくりについてはサイクリストの意見を何かしらの方法で汲み上げたい。</p>
委員	<p>事務局から説明があった件、それからインターネットやサイクリングマップの話は、どちらかと言えば短期的な課題であると思う。最初に委員が言われた意味は、この協議会が何年続くのか私はわからないが、持続可能なということを謳ってあったと思う。</p> <p>とすれば協議会の中で、中長期的な問題も含め、これだけの各分野からのメンバーが揃っているのも、将来的なものを協議するという意味だったのかなと思っている。私からもお願いしたい。</p>
委員	<p>やはり事業計画と言うからには、お金がついている個々の事業だけではなくて、最初に作った「何年目にこういうことをやる」というのは、まとめておいた方がいいのではないかな。</p>
議長	<p>このことについては、事務局でまとめてもらうということで、この協議会で検討してもらえよう配慮したい。他に何か意見はないかな。</p>
委員	<p>先ほどバスの関連で質問があったので、一部補足させてもらう。平成 20 年 4 月 1 日で一元化というか、江田島市内を網羅する形でバスが動くようになった。その時の状況としては、いわゆる西能美エリアと江田島町（一部大柿を含む）エリアが、とりあえず飛渡瀬・江南でくっついたという形でスタートした部分がある。</p> <p>実際に運行してみるといろいろ改善しなければならない部分があり、あれから 3 年経つが、いわゆる実施している立場からの感想と、利用されるお客様の思いもいろいろあり、うまくマッチするときは良いが、技術的な問題やお金の問題もあり、一致しない場合が多い。</p> <p>そういった中で複雑化した系統整理というのは、当時 42 系統あったものが現在 37 系統になっているが、当時から乗込調査であるとか、市で調査してもらったものなどがあり、いろんな調査を踏まえて今がある。ベストではないにしてもベターな方法でという思いでやっており、これらを踏まえてやっていきたい。</p> <p>ターミナル機能の強化というのは、どうしても利用頻度の高い、具体的に言えば江南地区が江田島市全体のキーステーションということで、あそこがハブとなってそこから枝に伸びているというのが実態で</p>

	<p>ある。この辺を強化するという事は、別の言い方をすれば皆さんの利便性を上げて役に立ってもらおうというのが強化という意味合いになると思う。</p> <p>観光面については、路線バスを主とした江田島バスであるので、観光地があるとそこへ行けば利用が増えるということであれば、そういうことであろう。</p> <p>これら資料にある 3 つの事業は、枠を一応くつつけてあるが、この 3 つがうまく利用客の役に立つ形になればと思う。</p> <p>サイクリングマップは 1 万 7 千部も配布して周知徹底もされ、仮にサイクリングされる方が今後どんどん増えたとすると、どんどん推進するが実務的にやらなければならないこととのバランスが取れるのかどうか。これは仕組みづくりだろうと思うが、実際に実務の方をどうつなげていくのかという部分が検討されていなければならない。</p> <p>継続性という言葉を使い換えると「プラン・ドゥ・チェック・アクション」ということ。これをぐるぐる回していくことが実は継続になるということだから、これがプランだけで打ち上げて終わるとそれまでということになる。この動きが大事だと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>「サイクル&amp;シップライド型～」の件で、実務のところの仕組みということがあった。今観光協会でレンタサイクルをやっている。本協議会でサイクリングマップを作成した。また旅客船協会でもいろんな取組みをされている。自転車を活用した取組みということで、いろんな方面で江田島市を取り上げてもらっている事実がある。その中でどのようにやっていくのか、動かす人がどうなのかというのは確かにあるのだが、その辺りは仕組みとして、例えばサイクリングのクラブとか、同好会的な活動をされている方の協力であるとか、そういったものが求められるような仕組みにしていきたいとは考えている。まだ具体的なところまでは出来ていない。</p>
<p>委員</p>	<p>定住人口を増やしたいがままならないということで、まず交流人口から入っていこうと考えている。我々が持てる力は実は自然しかない。</p> <p>サイクリストが徐々に増えてきている。レンタサイクルを始めたところ、結構家族連れでお見えになる。そして自転車で街中や山の方をまわって帰られる。将来的には有望かなと思っている。</p> <p>実務の問題については、各棧橋ターミナルへ委託しているのだが、負担ばかりかけてもいけないので、観光協会に 1 人補助員を採用したばかりなのだが、今後も力を入れて皆さんに迷惑をかけないように、また自転車で来られる人が本当に楽しんで帰ってもらえるように心がけていきたい。</p> <p>この前、中町で自転車を借りて三高の砲台山に行かれた方が、帰るときに急に大雨に降られた日があった。夫婦で来られていたのだが、</p>

	<p>中町へ返さないと言った保証金が返らないからと、びしょ濡れになって中町へ向かっていた。それをたまたま観光協会の事務局長が見かけ、すぐに引き返して、高田港で返してもらっても結構ですよと、自転車を高田港に置いて、事務局長の車で中町まで送って、そこから船で帰ってもらった。ちょっとしたことだが、いたく感激され、すぐに御礼が来たり、江田島市は親切なところだねとツイッターで情報が広がったりした。</p> <p>この自転車のレンタル、あるいはサイクリストがお見えになるが、これを通じてこの島をアピールしたい。あまりお金もかからないし。健康志向であり、自然回帰という点からも良いことなので、観光協会としても力を入れていきたい。</p>
<p>議 長</p>	<p>今年度の事業は非常に盛りだくさんということで、この資料に書かれていない事柄もたくさんあり、今後も検討をしていきたいと思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>先ほど持続可能な公共交通ということを会長も言われたが、今日の提案については、事業計画が先にきて、それに基づく予算案が出てくるのが本来の姿であると思う。今日の提案の仕方については、予算に括り付けた事業計画という感がする。いずれにしても、この計画では先が見えない。何らかのマスタープランとか年次計画を立てて、その計画に基づいて当該年度の予算案を計上するという方法をとってもらおうというのが常套ではないか。</p> <p>またこの予算の計上額については、22年度の決算額を見ると、概ね当初予算の予算現額から、国の補助金にしても市の負担金にしても、半額くらいに減っている。その実績額をもってこの23年度の予算計上が行われているところである。予算の金額に基づいて事業計画を括り付けた形となっているが、いずれにしても先が見える、将来的な計画を立ててもらうようお願いしたい。というのは前々から申し上げているとおり、利用者からすれば海上交通、三高棧橋にしても中町棧橋にしても、まだ要望もあるし不満もある。これを全部聞き入れることは出来ないだろうが、長期的に不満なり要望なりを取り入れたような計画を立てていただくようお願いしたい。</p> <p>サイクリングの件も出ているが、確かに近頃休日などにサイクリングで国道・県道を走る人が非常に増えているように感じる。とても好ましいことであるが、一方で交通事故が一番心配である。道路の端を2列で走ることもあるし、そういった面で安全協会なり警察としても協議を重ねているのか、あるいは協議会でもデリケートな問題なので、何らかの対処が必要ではないかと思う。交通事故が起きて対処するのでは間に合わない。事故が無いような対処の仕方を考えてもらいたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>自転車の交通事故は、確かに全国的には増えている。しかし江田島市ではこれといって数そのものは未だ増えていない。しかし委員の指</p>

	<p>摘のとおり，土日には私が島内をまわってみても，自転車が 20 台～30 台入っているのを見るようになったので，増えていると思う。事故も自ずと増えていくものと思慮するので，啓発活動等をしていきたいと思っている。まずもって道路整備等も進めてもらいたい。</p>
議 長	<p>ただいま委員から，住民の要望を取り入れた計画書を作成することを希望するということであり，これは次回の協議会においても課題になってくようと思うが，事務局の方から何か考えはあるか。</p>
事務局	<p>マスタープランをもって，という話だと思うが，基本的にこの協議会でやっている事業というのは，最初に連携計画というものを皆さんで作成してもらった。その中に海上交通・陸上交通・観光振興の方向性や計画というものを，短期目標・中期目標・長期目標という記述で掲載しており，この中でやる事業については国の補助金を使うという前提でいるので，この計画では 8 つの事業を 3 年間かけてやるというのが当初の計画であったと思う。その計画の進捗だとか予算だとか，そういったことを年度最初の協議会ではやらなければいけないと思ったため，そういう資料を作成した。</p> <p>連携計画の記述の中に，いろんな話し合いを実施するというものもある。そういったところを捉えて，本協議会でいろんな議論をしてもらいたい。具体的な要望に対してここで応えられるものというか，こちらにお集まりの関係者によって対応できるものは，それぞれやっていきたい。</p> <p>実際にそれを全て網羅してどうやっていくのかという，計画のさらに一歩進んだ計画を作るといところまでは今は考えていない。関連した陸上交通・海上交通・観光で言えばサイクリングの関係等，そういった関連するものについては，ここで議論してもらえればと思う。</p>
議 長	<p>皆さんの積極的な意見や議論をお願いしたい。住民の要望というのは，特にバスの利用者で言えば，どの地域でも高齢の方の利用，特に高齢の女性の方の利用が非常に多くなってきているというのが近年の動きである。そういうものを含めた議論を重ねる必要がある。</p>
委 員	<p>先ほどは細かな事業について質問したのだが，市議会の 3 月定例会において，航路の赤字の半分を補助するという県の新規事業について，市長に質問をいろいろさせてもらった。その中で，本協議会が発足して，計画 1 年目の一番大きなメインテーマが何であったのかと考えると，やはり西能美航路の再編，これに尽きた。これがほぼ完了して，それに付随するものが今回の事業計画に残っている。</p> <p>今，油代が随分上がっているのは御存じかと思うが，実は今日，議会全員協議会があり，市の交通船事業においてもやはり油の高騰により，当初見込んでいた燃料費+2,500 万円を超えるものが見込まれるという状況にある。そうすると市営船においては市からの税金による補</p>



	<p>填というのも可能ではあるが、民間事業者においても油の高騰というのはかなり厳しい状況にある。</p> <p>市営船以外の民間事業者が何航路かあるが、全体的に江田島市の海上交通をどう考えていくか、一つの江田島市としての海上交通として考えるべきではないかという質問を市長にしたところ、市長としても公共交通協議会の決定方針を尊重するとの答弁があった。</p> <p>こちらの海上分科会がメインで議論されることになると思うが、我々分科会以外の委員も、この江田島市全体の海上交通をどう考えていくかというのも、今年 1 年の協議会のテーマとして議論していくべきではないかと、私は思っている。</p>
委員	<p>バスのダイヤについて、江田島・大柿地区から利用者の要望や苦情が出ている。そうしたバスダイヤの検討について、老人クラブなり女性会なり自治会なり、そういった各種団体を含めて検討会を開いてもらい、江田島バスと協議し住民の意見を取り入れてもらいたい。</p> <p>サイクリングについて、確かに事故は起きていないと思うが、マナーを守ってもらえるように、啓発を十分に、交通安全協会もタイアップしてやってもらいたい。</p>
議長	<p>交通マナーは大変大切なことであり、交通安全協会というものもあるので、タイアップしながら警察にはご指導いただきたい。</p> <p>バスダイヤの再検討については、各種団体があるので、利用者側に立った視点でダイヤをどう変えていくかというのは非常に大切なことなので、今後の公共交通協議会若しくは陸上分科会において検討してもらおうことになると思う。</p>
会長	<p>先ほどからいろんな意見が出ているが、事務局においてもっと親切的な取り組みが必要だったと思っている。御承知のように公共交通協議会における各事業は、総合連携計画がベースとなっている。これに基づいて 23 年度の計画や予算をつけているのだが、この計画には全体像が、大きなスケジュールがある。このことをきちんと、この計画の何ページの何の部分は今からやるという形で整理する、中期的・長期的なプランも出来ている。その中で大事なポイントが抜けてしまうのではないかという指摘だろうと思う。もう少し総合的に論議すべきで、細かい事業を一つ一つ、これで良いかということではなく、大局的な論議の場ではないかということではなからうか。</p> <p>これを踏まえて、今後資料を作ったり、あるいは協議してもらったりする際には、そういった面も十分配慮して進めていくように、資料作りにも一定の工夫をしていきたい。</p>
委員	<p>いろいろ議論が出来ているかなと思っている。先ほども話が出たように、計画の全体像が見えにくかったかなと思う。</p> <p>持続可能というのは、一方では絶対にコストがかかること。利用者</p>

	<p>の要望に応えることは当然なことだが、そこを常にコストと比べながらやらなければ、本当に持続可能ということにならないのではないかと私は思う。</p> <p>そういった意味で、例えばバスについては、こういうダイヤを組めばこういうところが良くなるだとか、コストがかかるとか運賃が上がるとか、そういうことも出てくると思うので、そういった議論をしていかないと、一方的に要望がこうだからこうしろというだけでは、立ち行かなくなる。</p> <p>民間企業は民間企業で努力をされているとは思いますが、その辺を必ず皆で頭に置いて議論を進めていくことが、まさに持続可能な交通体系をつくることになるのではないかと思います。</p>
議長	<p>平成 23 年度の予算はこのとおり執行するというで承認いただけるか。</p>
	<p>(異議なし)</p>
議長	<p>今日、いろいろと意見が出たので、その点を踏まえ、事務局としても修正すべきところを修正して、また事業計画で語られていない点も含めて、次回の協議会で審議してもらいたい。</p>
6 その他	
(1) 航路の指定区間及びサービス基準に関する調査の回答について	
(2) 公共交通に関する講演会の開催について	
事務局	<p>－資料 5, チラシにより説明－</p> <p>資料 5 は、先日県を通じて国から航路の指定区間・サービス基準についての照会があり、回答する案を整理した資料。</p>
委員	<p>資料 5 について、「特になし」というのは、変更がないということか。現状のまま続くという理解で良いのか。</p>
委員	<p>いわゆるサービス基準というのが設けられており、各事業者はそれ以上のことをやらなければならないということ。今の段階で各事業者が「特になし」としているのは、この基準を割ってまで便数を減らさなければならないというほどではない、今の状態ではこれはクリア出来そうだと、こう理解して良いと思う。</p>
委員	<p>分かりにくいのだが、航路ごとの最低輸送能力を 139 名から 80 名に変更するということか。基準の 80 名をオーバーするのはオッケーということか。要は最低基準を 80 名に落として設定するというだけのことか。</p>
事務局	<p>139 名から 80 名に変更というのは、輸送能力が 80 名を下回ってはいけないと基準を下げるもので、それ以上の船を持つのは全然構わない。将来的に小さい船を持って来るケースがあろうと思うが、現行のままでは 139 名より小さい船を持って来る事が出来ない、検討する</p>

	<p>ことが出来ないので、その辺を検討するに当たって基準を下げるということである。</p>
委員	<p>現行の双胴船の高速船を廃止するという伏線があってこういう基準を設けるといふのならば、私は意義の申し立てをしなければならない。そうではなく、中間便で小さい船を運航するのであれば、これは当然のことだと思う。その辺りは今後検討していただきたい。</p> <p>空気を運ぶような船にならないように。現行の双胴船の高速船を廃止するという伏線ではないと、理解しておく。</p>
野原議長	<p>今日初めて参加した委員はいかがであったか。全体的なバスや航路に関する感想でも結構なので。</p>
委員	<p>初めての参加なので、今日は一生懸命勉強させてもらうだけであった。皆さんの立派な意見を聞いて、これを女性会に持ち帰り、また女性の意見をこの会にどしどし持って行けたら良いと思う。</p>
議長	<p>特に利用者は高齢の女性の方が多いので、またどんどん意見を伺って、この協議会で発言してもらいたい。</p>
委員	<p>今度開催されるこの講演会、非常に良いと思うので、許しがもらえるのであれば、ビデオか何かに保存しておけば良いと思う。</p>
議長	<p>大学のときにもあったのだが、講演者の方に「ビデオに撮ってそれを公開するほどの料金をもらっていない。私の講演は講演だけの料金である。」と言われる場合があるので、その点を事務局は良く確認してやってもらいたい。というのが、大学でも一時期、著名な方を呼んで公開講演をやった。その公開講演は良かったのだが、それをビデオに撮って公民館などで活用するということになる、ストップがかかった。その辺を注意してもらいたい。とても良い案だとは思ふ。</p>
委員	<p>せめて資料のコピーを頂ければと思うのだが。</p>
事務局	<p>運輸局と一緒に先生を呼んできたということがあるので、そちらにも相談し、議事録など作られるのであれば提供してもらいたい。</p>
7 閉会	